

2025年度 第1回 一宮駅周辺地区デザイン懇談会 議事概要

1. 日時

2026年1月8日（木）14時00分～16時00分

2. 出席者

別紙のとおり

3. 議題

- (1) 検討状況について
- (2) 本町通りのデザイン検討状況について
- (3) 銀座通りのデザイン検討状況について
- (4) 本町通り・銀座通りについての意見交換
- (5) 第6回まちなかを考えるシンポジウムのプログラム案
- (6) デザイン計画のとりまとめについて

4. 議事概要

- ・事務局から資料に沿って議題の内容を説明した。
- ・本町通り・銀座通りのデザイン検討、今後の進め方について意見交換を行った。

5. 主な意見（抄）

[本町通りのデザイン検討]

- ・舗装が変わっただけでは、街は変わらない。公共投資にあわせて商店街が動くように働きかけをするべきである。
- ・本町通りの整備はそれをやって終わりではなく、これが始まりであるという機運を持たせる必要がある。
- ・商店街をモールに見立て、子ども連れでいつでも遊びに来られる環境をつくるには、緑化やミストの設置は必要であり、そういった利活用のための設備は、誰が設置するか、資金調達はどうするかまで議論を行う必要がある。
- ・舗装と色合いの差がある縁石は、弱視の方の安心・安全な移動を支えるために有効である。
- ・パースだと縁石横の側溝のグレーチングが铸铁の黒色になっているが、色の数が抑えた方がよく、側溝の路面に出る部分の色味はステンレスにするなど縁石と揃えた方が良い。

[銀座通りのデザイン検討]

- ・本町通りのラウンドアバウトの舞台化にあたっては、できるだけイベントの時にお金かけず、いつでも使用できる状況にしておくことが大事で、日常使いできるのが理想的である。
- ・中央分離帯とラウンドアバウトをつなぐステージをつくってランウェイを作ることでファッションショーなど一宮の地場産業を生かしたイベントができる。一宮駅の西側から銀座通りまで、駅コンコースを含め一体的な利活用もできるといい。さまざまな活用の可能性を考えながら、地下駐車場の整備と一体で考え、議論を進める。
- ・利活用は一時的なものではなく定着する流れが出るといい。コンテンツを創出する人材の育成も重要である。

以 上